

鈴木敏恵 COC+講演資料

第5回 千葉県COC+合同シンポジウム・ポスターセッション

地域と学生が共に成長する プロジェクト学習

地域・自治体・大学の協働

日時 2018
10/16 (火)

13:30 - 17:00 (13:00- 受付)

会場 千葉大学西千葉キャンパスけやき会館
1階大ホール・ロビー

13:30 - 13:35 開会挨拶 徳久 剛史 (千葉大学 学長)

13:35 - 14:35 基調講演 プロジェクト学習で

「価値を創造できる人」になろう!

「ポートフォリオ」に学生は知を地域の人にはリアルを..

鈴木 敏恵 (シンクタンク未来教育ビジョン代表)

【プロフィール】一級建築士・未来教育クリエイター。次世代プロジェクト学習、ポートフォリオの第一人者として全国で活躍。公職歴：内閣府中央防災会議専門委員、千葉大学教育学部特命教授、東北大学非常勤講師ほか。『日本計画行政学会賞』特別賞受賞。著作『AI時代の教育と評価』他多数

■ 千葉COC+地域再生・創生人材育成プロジェクトとは

1、次世代プロジェクト学習の手法による『千葉COC+地域再生・創生人材育成』

文化的、経済的、歴史的背景のことなる地域が共通するコンセプトの元に広域的に展開する「千葉COC+」においては、関わる人々（学生、自治体、地域の当事者など）は、どういう立ち位置でどこへ向かって行くのかが可視化・顕在化できることが欠かせません。

各自治体には優れたアイデアや戦略がありますのでバラバラに各々の進め方で展開するのではなく、そのプロセスで派生する課題や課題解決などを互いに共有することで、さらに効果的で価値ある知の触発、創発が叶います。そのために共通プラットフォームとして、次世代プロジェクト学習の手法で『千葉COC+地域再生・創生人材育成』を展開することを提案します。

2、学び成長する地域

次世代プロジェクト学習の手法で進捗することで、共通プラットフォームで展開することで、知恵を共有しあって、「学び成長する地域」として全体性で進化することができる。大学の地域再生・創生カリキュラムとしても明確な教育目標を掲げ向かうことができる。全ての地域において、普遍的な「地域創生コンピテンシー」を学生も地域も身につけることができる。次世代プロジェクト学習の手法で進捗することで、学生たちに身につく力の確実性を叶えるだけでなく、その評価を根拠を持ってできる。

3、プロジェクトのゴール=他者に役立つ知のアウトカム

次世代プロジェクト学習の最大の特徴は、そのゴールを「他者に役立つ知のアウトカム（成果物）」を創造的に生み出すことにあります。

* プロジェクトには様々な立場、所属、キャリア、個性、スキルを持つ人が参加しますが、皆 ビジョンとゴールを共通認識とします。

プロジェクトチーム（船）でゴールへ

地域再生・地域創生..共通する仕事や課題意識の人々で船（チーム）をつくり、それぞれ知識や課題解決のアイデアを創造的に出し合い、船をゴールへ到達させます。